

群馬大学医学部附属病院の病院長候補者について

群馬大学医学部附属病院長候補者選考会議細則第2条第1項第2号の規定に基づき、学長に推薦する病院長候補者を選考したので、群馬大学医学部附属病院長候補者選考実施内規第7条の規定に基づき、下記のとおり公表する。

記

1 病院長候補者氏名

(氏名)	(現職名)
齋藤 繁	群馬大学理事（病院担当） 群馬大学医学部附属病院長 群馬大学学術研究院教授（大学院医学系研究科主担当）

2 選考した理由及び選考の過程

(選考した理由)

別紙のとおり

(選考の過程)

- ① 令和4年12月21日（水）
第1回群馬大学医学部附属病院長候補者選考会議を開催
 - ・群馬大学医学部附属病院長選考基準案の策定
 - ・群馬大学医学部附属病院長候補適任者推薦要項の策定
- ② 群馬大学医学部附属病院長候補適任者の推薦受付
 - ・公示日：令和4年12月22日（木）
 - ・推薦受付期間：令和5年1月10日（火）～13日（金）
 - ・推薦受付状況：締切日までに1名の推薦があった。
- ③ 令和5年1月25日（水）
第2回群馬大学医学部附属病院長候補者選考会議を開催
 - ・群馬大学医学部附属病院長候補適任者資格等審査
 - ・群馬大学医学部附属病院長候補適任者の面談実施方法の決定
- ④ 令和5年2月7日（火）
第3回群馬大学医学部附属病院長候補者選考会議を開催
 - ・群馬大学医学部附属病院長候補適任者1名に対する面談の実施
 - ・学長に推薦する群馬大学医学部附属病院長候補者の決定

令和5年2月7日

群馬大学医学部附属病院長候補者選考会議

群馬大学医学部附属病院長候補者氏名 齋藤 繁

選考の理由

この候補者に係る推薦書等の書類は、群馬大学医学部附属病院長候補適任者推薦要項で規定する提出書類に照らして不備がないことを確認した。

群馬大学医学部附属病院長候補者選考会議では、群馬大学医学部附属病院長候補者選考基準に基づいて、提出された推薦書等の書類及び面談により評価を行い、以下の理由により、群馬大学医学部附属病院長候補者として適任であると考え、候補者として学長に推薦することとした。

- ①医療安全の確保の面では、患者参加型医療の重要性を強く認識し、医療安全の文化を風化させないために病院職員に対し継続的な指導を行う姿勢と意欲がある。
また、病院で取り組んできた患者・医療者間での診療記録の共有に関して、院内に留まらず、書籍にまとめるなど、本院の取組みを他病院にも積極的に情報発信していることが評価できる。
- ②病院長就任後の2年間、新型コロナウイルス感染対策や病院経営に資する重要案件の取りまとめに対し、強いリーダーシップを発揮し、不安定な社会状況の中でも、質の高い医療を保持しつつ病床稼働率の向上に取り組むなど、病院の安定的な運営に貢献していることが評価できる。
- ③継続して安全で先進的な医療の提供体制を維持するために、病院職員の健康確保及び意識啓発、専門医や特定看護師などの人材養成、病院再開発へ向けた取組等、病院全体の中・長期的なビジョンを明確に持ち、それらに取り組む意欲がある。
- ④社会的要請や地域の要請に応じるために、大学病院としての役割を認識し、先進的医療の導入や医療人の養成を行う姿勢と意欲がある。
また、群馬県や群馬県医師会などの関係機関と連携し、地域医療体制の構築に貢献する積極的な姿勢が見られる。

以上が推薦理由であるが、群馬大学医学部附属病院長候補者選考会議としては、病院長候補者に対し、群馬大学医学部附属病院がこれまで推進してきた医療の質の保証や医療安全に係る改善・改革を継続して実行すること、医学部との連携によるシームレスな医師育成体制の充実、臨床研修医を始めとした若手医師の獲得・育成、地域医療へのさらなる貢献などの課題にも意欲的・積極的に取り組み、群馬大学及び群馬大学医学部附属病院の発展のために尽くしていただくことを強く要望する。